

- 砂押川水系では、各河川の上下流・支川の流域における地域特性を踏まえ、県・市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】砂押川及び勿来川において、各遊水地上流における河道掘削などの河川改修を実施。
 - 【中期】勿来川上流河道改修の状況を把握しながら、適切な時期に勿来川遊水地の掘削を実施。
 - 【中長期】維持管理計画に基づき、河道状況を把握しながら適切に堆積土砂撤去・支障木伐採を実施。
- あわせて、流域市町が進めるまちづくりとの調整を図りつつ、安全なまちづくりや内水被害軽減対策（原谷地川排水樋門改修、雨水浸透貯留施設の新設等）や市街化の進展に伴う雨水流出量の増大を抑制する雨水貯留浸透施設整備の推進などの流域における対策、ハザードマップや河川水位等の情報発信などソフト対策を実施。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削	宮城県	→		
	堆積土砂撤去・支障木伐採	宮城県	→	河道内の状況より順次実施	
	雨水貯留施設の整備 ため池改修、水田貯留	流域市町	→		
	森林整備・治山対策等	宮城県 森林整備センター	→		
被害対象を減少させるための対策	適正な土地利用の規制	流域市町	→		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ソフト対策のための整備	宮城県	→		
	避難体制等の強化 洪水ハザードマップの作成・周知	流域市町	→		
グリーンインフラの取組み	治水及び利水面との調和 自然環境の保全	宮城県	→		
	森林整備・治水対策等	宮城県 森林整備センター	→		
	洗浄水の雨水利用	流域市町	→		
	水生生物調査による環境学習	流域市町	→		

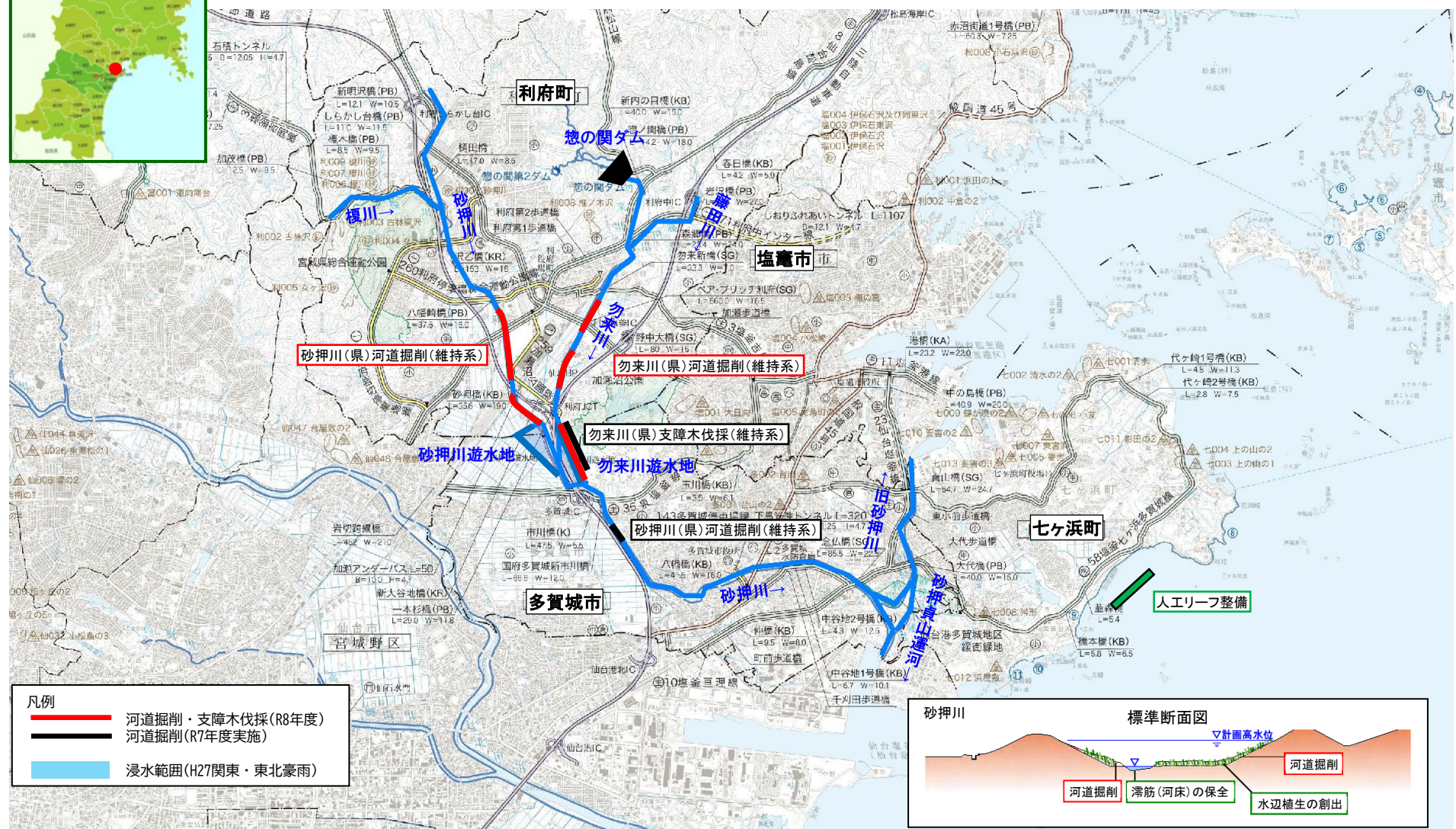
砂押川水系流域治水プロジェクト

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

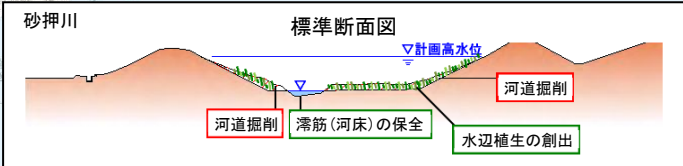
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 令和7年度の実施箇所及び令和8年度実施予定箇所

位置図



- 凡例**
- 河道掘削・支障木伐採(R8年度)
 - 河道掘削(R7年度実施)
 - 浸水範囲(H27関東・東北豪雨)



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 市街地及び地方部も含めた堆積土砂撤去等を計画的に推進。

堆積土砂撤去（砂押川）



多賀城市城南2丁目付近

支障木伐採（勿来川）

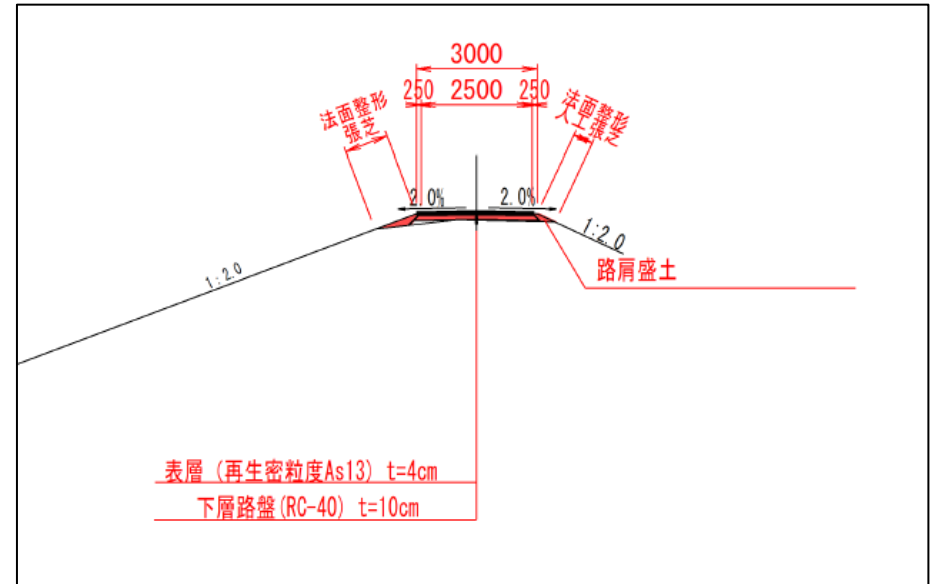


利府町加瀬新船岡付近

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 堤防天端舗装の実施

(砂押川)



多賀城市鴻の池付近

堤防天端を舗装し、壊れにくい構造にします

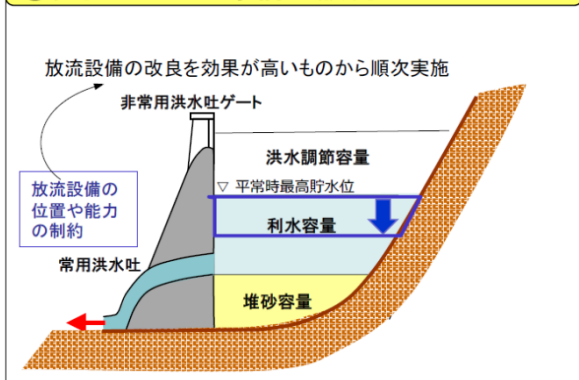
①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 惣の関ダムにおける治水機能の強化

- 洪水が予想される場合、既存の利水ダム等において貯留水を事前に放流し、洪水調節容量の強化を図る。

■ ダムの事前放流により洪水調節容量を確保することで、 ダム下流域の浸水被害の軽減を図るもの

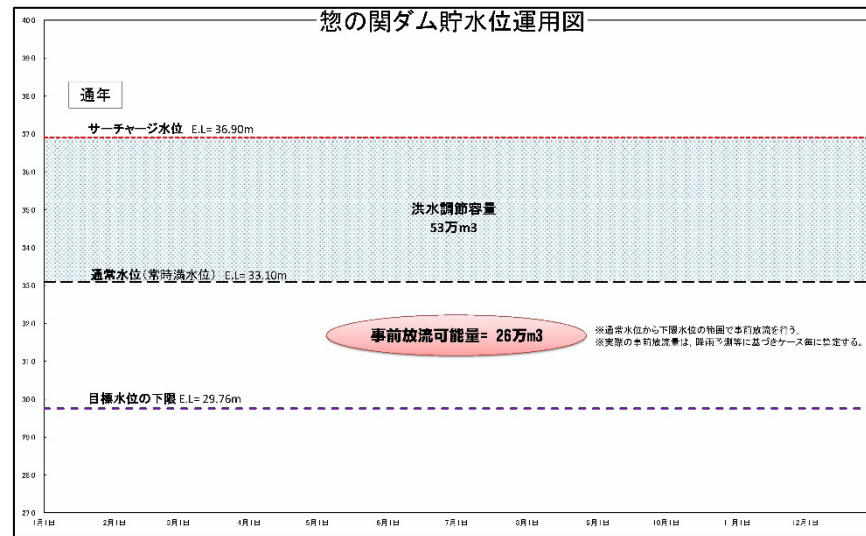
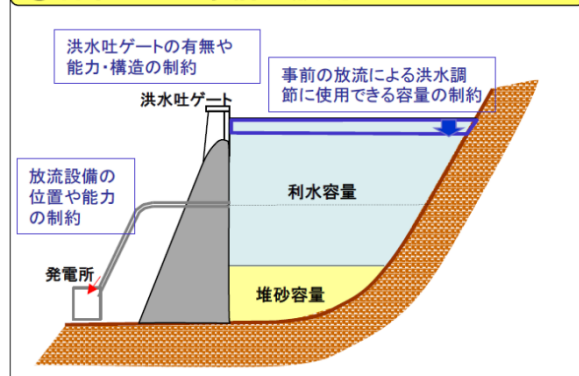
①多目的ダムの事前の放流



< 治水協定概要 >

- ①洪水調節機能強化の基本方針
- ②事前放流の実施方針
- ③緊急時の連絡体制
- ④情報共有の在り方
- ⑤洪水調節機能強化のための施設改良が必要な場合の対応
- ⑥事前放流による深刻な水不足が生じないようにするための措置がある場合はその内容

②利水ダムの事前の放流

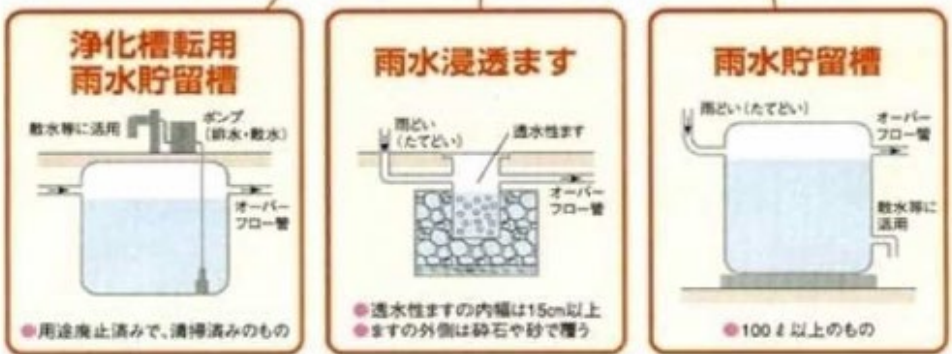


① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 雨水貯留施設の整備促進

○ 土地利用と一体となった遊水機能の向上として、流域内の住宅敷地等を活用した様々な流出抑制対策を推進。

各戸貯留浸透施設（支援対象）のイメージ



<塩竈市の事例>

■ 塩竈市では、高台地域に降った雨を一時的に貯めることによって下流地帯に「少しずつ流す」ための宅内貯留施設に関する取り組みを実施しています。

施 工 例



① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

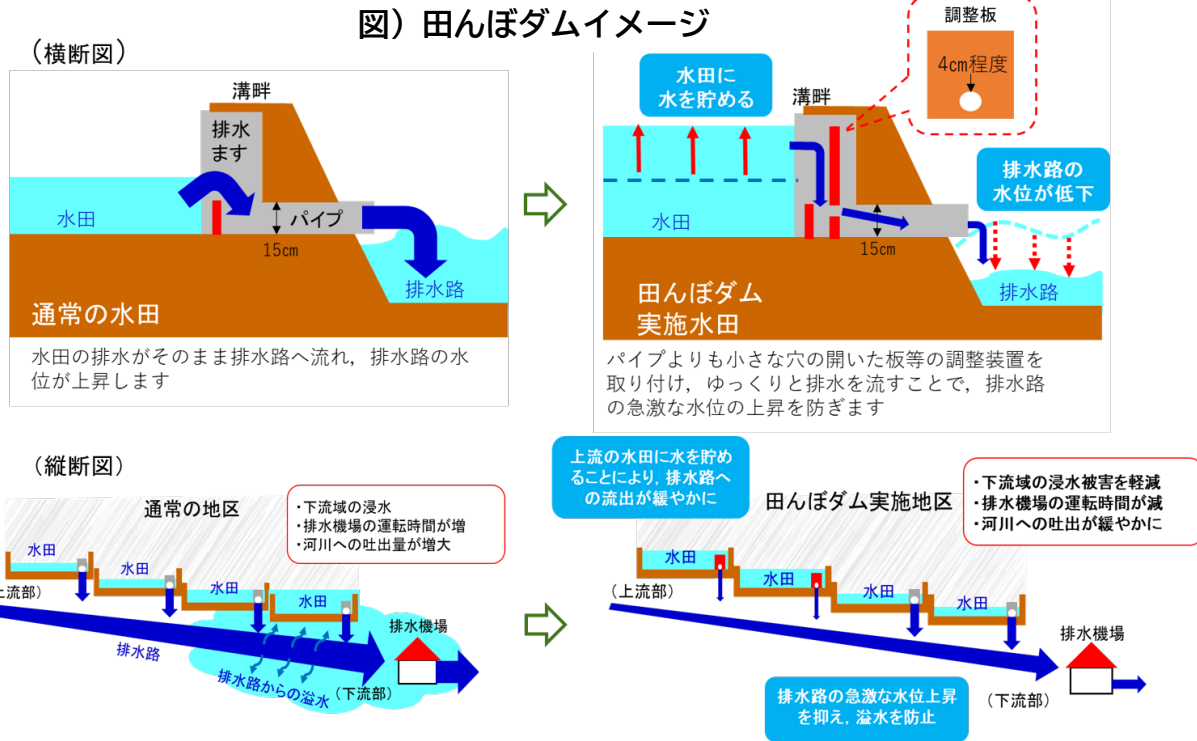
■ 水田貯留（田んぼダム）の取組の推進

○ 当水系における、田んぼダムの取組拡大を図っていきます。

○ 近年頻発している豪雨や台風などへの備えとして、洪水や浸水被害のリスクを軽減する「田んぼダム」が注目されています。

○ 雨水を一時的に田んぼに溜めることで、農地や市街地の洪水を減少させることができます。

○ 田んぼから少しずつ排水していくことによって、排水路や排水機場にかかる負担を軽減できます。



■ ため池改修の取組の推進

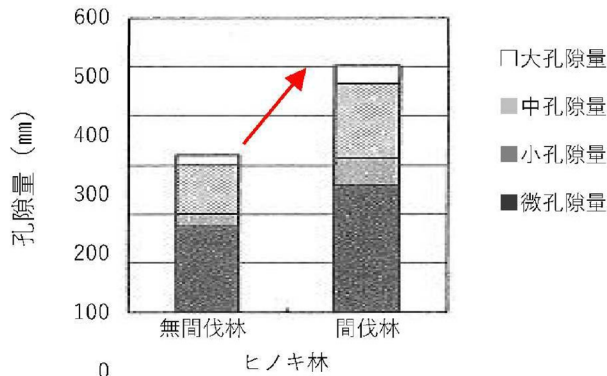
○ 下流域への影響が大きい防災重点農業用ため池において、防災工事の計画的な実施や適切な保全管理体制の整備を市町村・管理者等と連携して取り組んでいきます。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 森林整備、治山対策

- 森林整備・治水対策を適切に進め、保水力をはじめとする森林機能の維持・向上を図る。
- 山林の開発に対して一定の規制を設けるなど、森林機能の保全を図る。

治山対策のイメージ



※服部ら「間伐林と無間伐林の保水容量の比較 (2001)」

出典：林野庁

(事例) 宮城県登米市の森林整備事業

【登米市森林整備計画】



出典：
登米市



【スギの再造林】



【間伐】

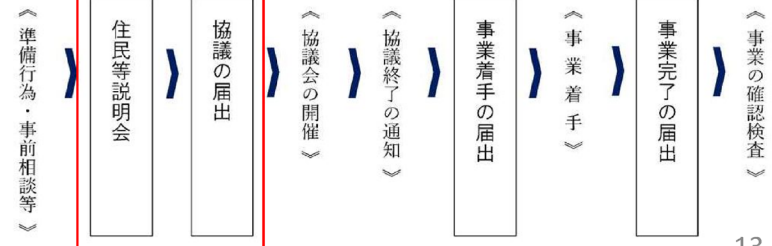
(事例) 宮城県富谷市の山林開発等に係る条例

■ 富谷市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例 (R1.10.17公布)

富谷市では、山林の開発の際などは、市との協議や住民への説明会実施を義務化している。

● 再生可能エネルギー発電設備設置に関する手続き

出典：富谷市



13

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 森林整備、治山対策

- 森林整備・治水対策を適切に進め、保水力をはじめとする森林機能の維持・向上を図る。
- 山林の開発に対して一定の規制を設けるなど、森林機能の保全を図る。
- 県有林保育間伐事業における利府町地内での参考事例を下記に示す。



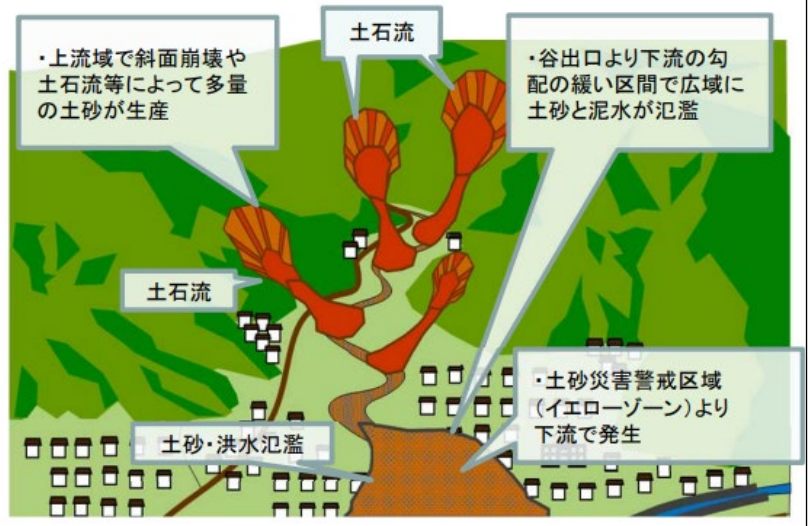
① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■ 土砂・洪水氾濫対策

- 県内全域の土砂・洪水氾濫（※）により被災する危険性が高い箇所を抽出した。
- 抽出箇所について、対策計画を策定し、砂防堰堤・遊砂地等の整備を推進していく。

※土砂・洪水氾濫のイメージ

豪雨により上流域から流出した多量の土砂が、谷出口より下流の河道で堆積することにより、河床上昇・河道埋塞が引き起こされ、土砂と泥水の氾濫が発生する現象。



出典：土砂・洪水氾濫の概要（国土交通省）

対策のイメージ

危険性の高い流域を中心に、より効果的な砂防堰堤や遊砂地等を組み合わせた施設配置計画を検討し、事前防災対策を推進していく。



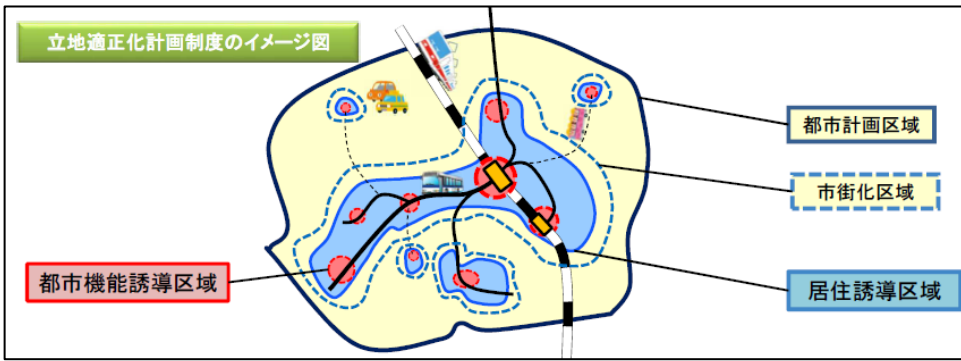
砂押川水系流域治水プロジェクト

②被害対象を減少させるための対策

②被害対象を減少させるための対策

■ 土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定 等）

○ 流域市町において、都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進する。



立地適正化計画イメージ図

※気候変動の影響により近年頻発・激甚化する自然災害に対応するため、水災害リスクを低減させるための堤防、遊水地、下水道等のハード整備とともに、想定される災害リスクを分析し、まちづくりに関して総合的な防災・減災対策を講じていく必要がある。

リスクの提示
床上浸水の頻度が高い地域など、災害リスクの高い地域を提示。まちづくりに関する協議会等に河川管理者や下水道管理者等が積極的に参画して関係者と災害リスク情報を共有。

居住等を誘導すべき区域等

居住や都市機能の誘導
災害リスクの低い地域へ居住や都市機能を誘導。
※災害リスクの高い地域は居住等を誘導すべき区域等から除外

ハザードへの対策
居住等を誘導すべき区域等の災害リスクを低減させる、河川や下水道、雨水貯留施設、浸透施設等の整備や、土地、家屋の嵩上げ、避難路・避難場所の整備等を重点的に推進

災害リスク
高 中 低

※社会資本整備審議会 河川分科会 気候変動に適応した治水対策検討小委員会
「水災害分野の気候変動適応策のあり方について～災害リスク情報と危機感を共有し、減災に取り組む社会へ～ 中間とりまとめ」を踏まえ作成 23

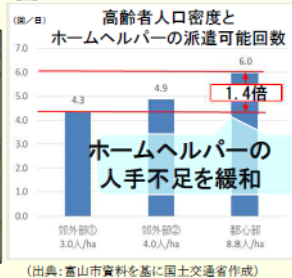
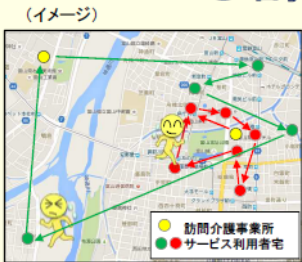
関連する計画や他部局の関係施策等の整理について

～コンパクトシティ形成による効果の例～

一定密度の集約型市街地に
～サービス産業の生産性向上～

■ホームヘルパー1人当たりの
サービス提供量が

○割増加



公共交通を利用しやすいまちに
～中心市街地の再興に～

■中心市街地の消費額を

○○億円増加

マイカー利用者と公共交通利用者の消費行動比較

	マイカー	公共交通
中心市街地での平均滞在時間(分/日)	113分	128分
来街時に2店舗以上立ち寄る人の割合	30%	47%
中心市街地での平均消費金額(円/日・人)	9,207円	12,102円

(出典：富山市資料)

マイカー利用者は、まちなかでの滞在時間が短く、消費も少ない

高齢者一人ひとりが元気に
～地方財政の健全化へ～

■必要となる医療費を

○○億円削減



砂押川水系流域治水プロジェクト

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進

○ 要配慮者利用施設の管理者の避難計画に係る理解向上を図り、計画の作成を支援する。

要配慮者利用施設における
避難確保計画作成の手引き別冊
(作成支援編・様式編)



平成28年台風第10号による被害状況



要配慮者利用施設
管理者向け説明会

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

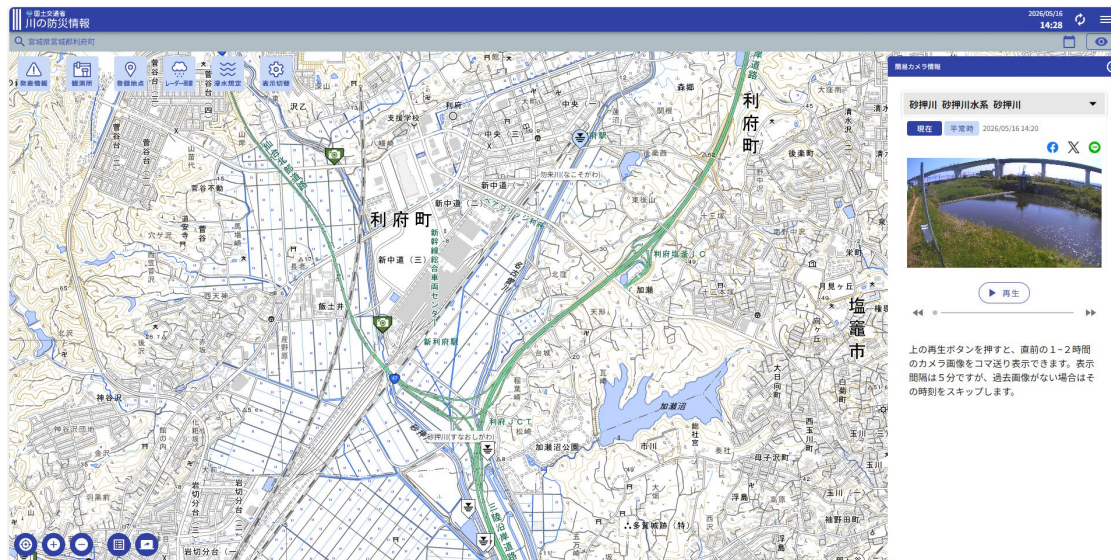
■ 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の設置

- 洪水に特化した低コストの水位計（危機管理型水位計）の整備促進
- 災害時に画像・映像による災害情報を発信し、適切な避難判断を促すため、簡易型河川監視カメラの整備促進



監視カメラ

危機管理側水位計



配信映像（砂押川）

監視カメラ
設置状況（砂押川）

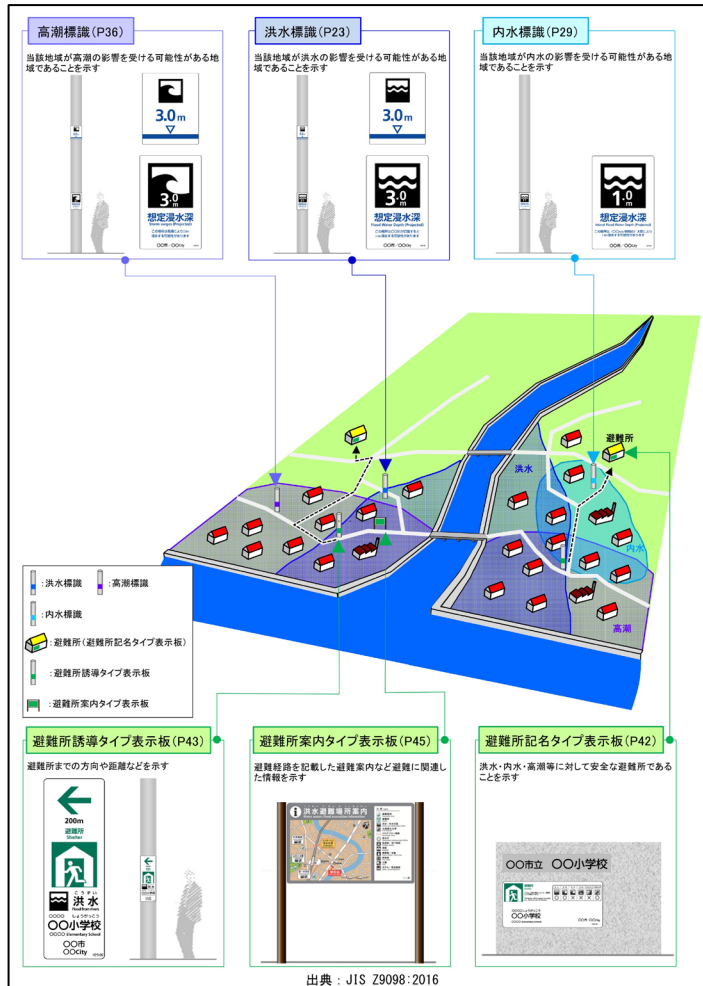
「川の防災情報」
<http://www.river.go.jp/>



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進

○ 想定浸水深等の災害リスクをまちなかに表示することで、日頃から住民の水防災意識向上を図る。



過去洪水実績浸水深の掲示例
(まるごとまちごとハザード
マップ取り組み事例)



(新たに定住する住民に対しても、地域の水害の危険性を実感できる工夫)

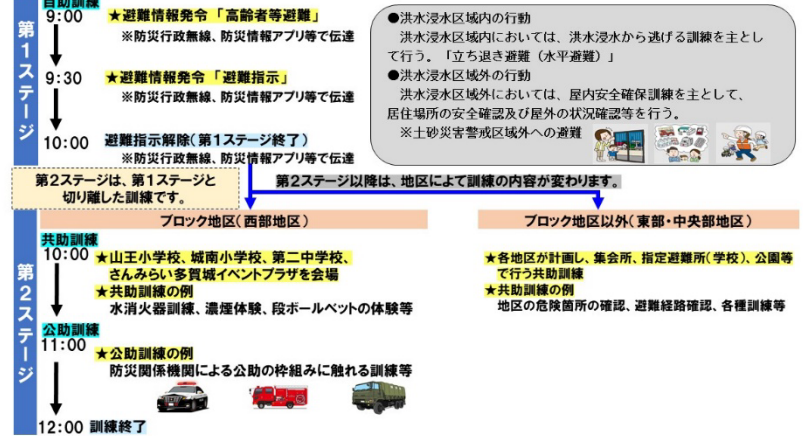
③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 防災教育や避難訓練等の実施

1 実施概要

- ① 目的 関係機関、市民、事業者等の参加を得て防災訓練を総合的に実施し、災害時における迅速かつ的確な応急対策の実効性の向上及び市全体の防災意識の高揚を図る。
- ② 日時 令和7年11月8日（土）午前9時から正午まで
- ③ 訓練場所 多賀城市内全域
- ④ 災害想定 大雨の発生と大雨に伴う河川氾濫及び土砂災害を想定
- ⑤ 設定 平日に市内全域に大雨による早期注意情報が発令され、時間の経過とともに、河川氾濫の危険度が高まり、高齢者等避難から全員避難の避難情報が伝達される。
- ⑥ 訓練区分 <第1ステージ> 9:00～10:00 <第2ステージ> 10:00～12:00
 ①自助訓練 ①共助訓練
 水平・垂直避難、屋内安全確保等 ②公助訓練（ブロック地区訓練）
- ⑦ 参加者 約7,200名
 （地域住民2,000名、生徒・学校教職員4,770名、市職員350名、防災関係機関等70名）

2 総合防災訓練・当日の流れ



4-1 ブロック地区訓練実施概要<山王小学校>



4-2 ブロック地区訓練実施概要<城南小学校>



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 防災教育や避難訓練等の実施

4-3 ブロック地区訓練実施概要<第二中学校>



8

4-4 ブロック地区訓練実施概要<さんみらい多賀城イベントプラザ>



9

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 防災教育や避難訓練等の実施

利府町防災アプリ 「まもり心」の運用開始

■ コンセプト

- ① デジタル技術の導入を図り、「安全・安心なまちづくり」に欠かすことのできない防災情報の伝達を実現する。
- ② スマートフォン等の端末を活用し、有効性の高い防災情報通信を確立する。

■ 入手方法

Apple StoreやGoogle Playから無料でダウンロードできます。

■ 防災情報等の確認

防災行政無線やJアラートと連携しており、自然災害、国民保護及び地域の安全に関する情報等をスマートフォンアプリから文字情報及び音声で確認できます。

※ 詳細は別紙参照

総合防災訓練の様子



住民による土嚢作成



住民による倒壊家屋からの救出



大学生による防災教育



役場職員による給水活動

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 防災教育や避難訓練等の実施

／ 守りあう心、つながる利府町 ／

利府町防災アプリ

利府町防災アプリ「まもりふ」は、利府町の防災情報や役立つ情報を受け取ることが出来るアプリです。災害時・平常時を問わず無料（※）でご利用いただけますので、ぜひアプリをインストールしてください。
※通信量は利用者負担ですので、あらかじめご了承ください。

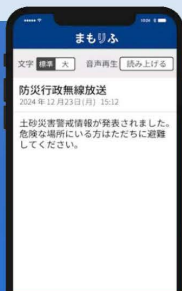


アプリのインストールはこちらから



Android
(Google Play)

iPhone/iPad
(App Store)



防災行政無線と連携

「まもりふ」は防災行政無線と連携しています。防災行政無線から放送される、津波情報や緊急地震速報、アラートなどの情報をアプリから確認できます。

PUSH通知や音声読み上げなどの機能を備えており、大事な情報を聞き逃すことがなくなります。



お問い合わせ 利府町役場 総務部危機対策課

電話：022-767-2174 FAX：022-767-2105
メール：kikikanri@rifu-cho.com

もしも、に備えて普段から

利府町防災アプリ「まもりふ」には、普段の生活で使える便利な機能がたくさんあります。もしもの時に備えて、普段から「まもりふ」をご活用ください。

住民レポート

道路や上下水道の破損状況や、ごみ等の不法投棄の状況をアプリから簡単に町の担当部署に報告できます。



ごみカレンダー

お住まいの地区のごみカレンダーを表示できます。指定した時間に、アプリから通知する機能もあるので、捨て忘れ防止にも役立ちます。



防災マップ

防災マップを確認できます。もしものとき、電波が無くても表示できるオフラインモードを搭載しています。



避難所一覧

避難所一覧を確認できます。こちらも、電波が無くても表示できるオフラインモードを搭載しています。



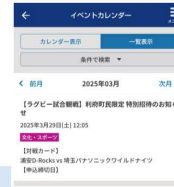
広報りふ

利府町の広報紙「広報りふ」を閲覧できます。最新号はもちろんなこと、バックナンバーも閲覧することができます。



イベントカレンダー

利府町のイベント情報を確認できるイベントカレンダーです。



お役立ち情報

気象情報や停電情報、河川の情報など、各機関が提供する情報に簡単にアクセスすることができます。



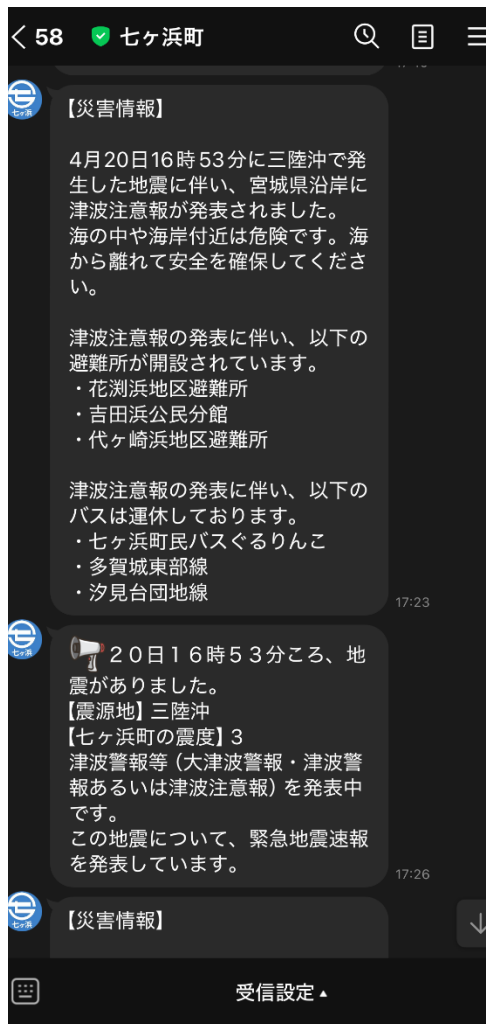
安否確認

NTT東日本およびNTT西日本が無償で提供する災害伝言板にアプリから簡単にアクセスすることができます。



③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 防災教育や避難訓練等の実施

七ヶ浜町
メールによる情報発信

総合防災訓練の様子

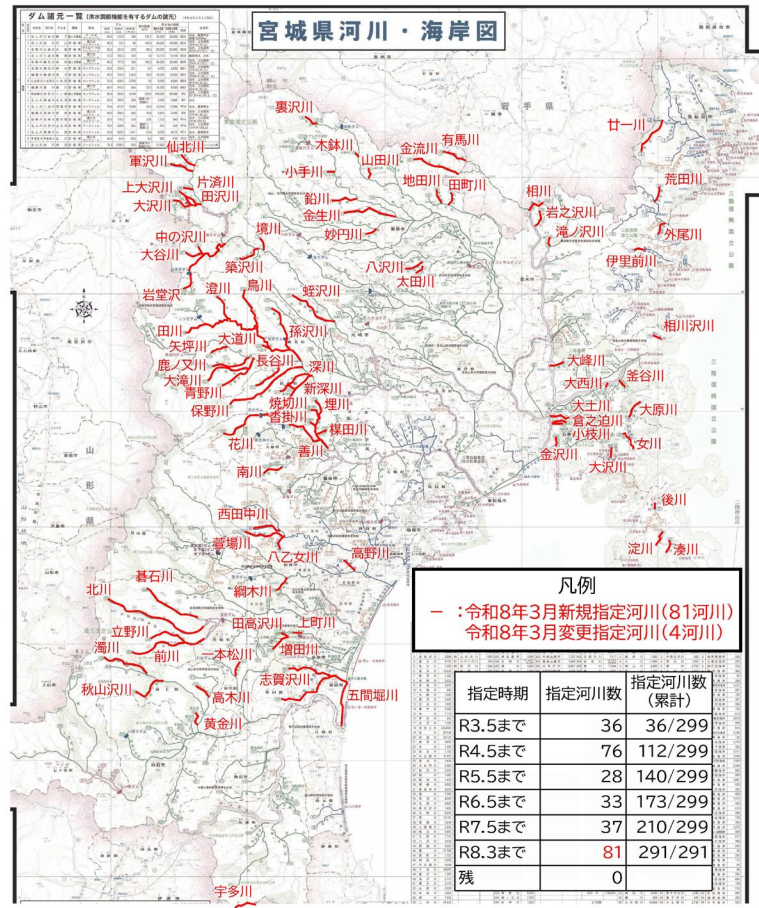


③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■ 水災害リスク情報空白地帯の解消

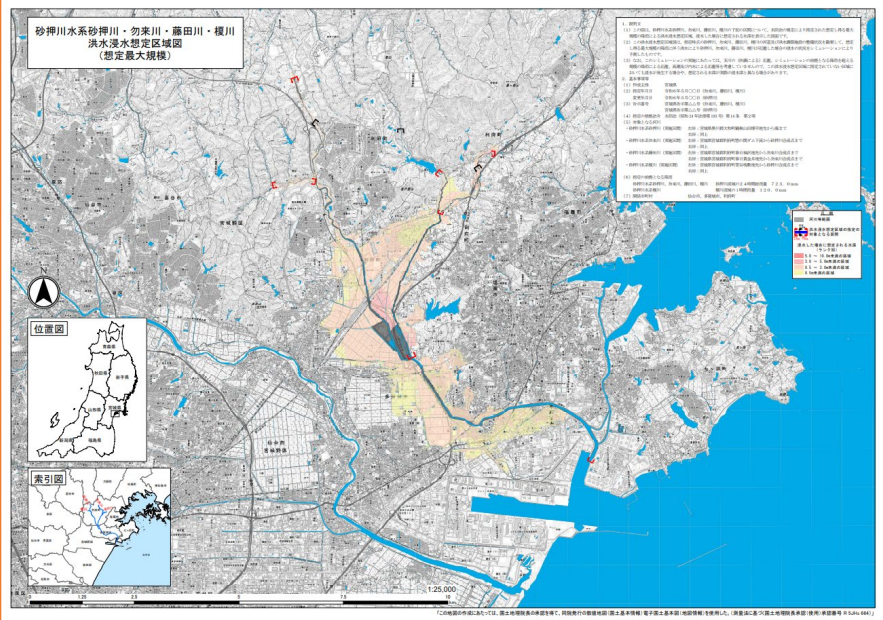
- 令和3年の水防法改正により、洪水予報河川及び水位周知河川に加え、**一級河川や二級河川のうち、住宅等の防護対象のある河川に拡大。**
- **件管理河川325河川のうち、291河川全てについて令和7年度末までに指定した。**

■ 水害リスク情報空白地の早期解消を図る。



■ 洪水浸水想定区域の指定状況 (R8.5時点)

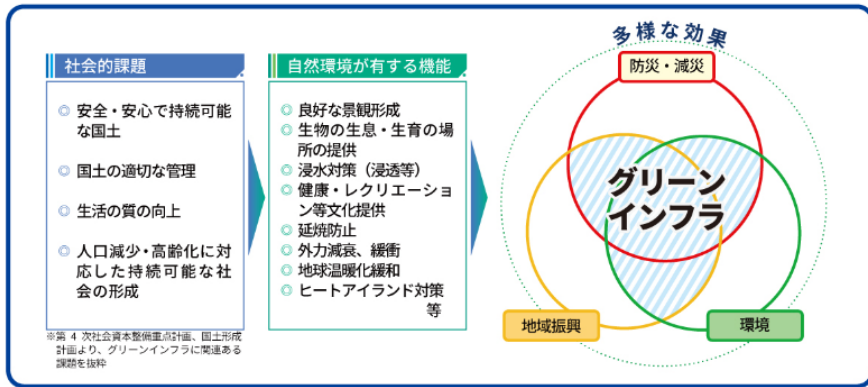
- 水位周知河川 : 砂押川
- 中小河川 : 砂押川上流延伸、榎川、勿来川、藤田川



図：砂押川水系砂押川の洪水浸水想定区域図

■ グリーンインフラの促進

○ ハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能（防災・減災、地域振興、生物の生息の場の提供、良好な景観形成等）を活用し、持続可能で魅力ある地域づくりを促進。



○ 防災・減災や地域振興、生物生息空間の場の提供への貢献等、地域課題への対応



个多賀城市貞山公園
植樹本数：42本（ヤマザクラ19本、オオシマザクラ23本）

○ 持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

【図】グリーンインフラの考え方



砂押川 小学生を対象とした環境学習
水生生物の捕獲調査

和船で 運河を楽しむ 運河遊覧

水面から見る運河の景色を楽しむ
舟渡りを実施。



令和5年度は
バスツアーも実施！

← 地域主体の取組
歴史教室、船わたり